

会 議 報 告 書	
会 議 名	令和2年度第1回草津市社会教育委員会議
日 時	自 10時00分 令和2年8月28日(金) 至 11時30分
場 所	草津市役所4階 行政委員会室
出 席 者	委員：横山委員(委員長)、長橋委員(副委員長)、橋本委員、北川委員 内田委員、湯浅委員、山本委員、藤内委員、矢野委員、山田委員 港委員、磯島委員、澤村委員、中瀬委員 事 務 局：居川教育部長、南川総括副部長 生涯学習課 上原課長、矢野係長、井上主任 図書館 二井副館長 傍 聴 人：なし
会議関係書類	<input checked="" type="checkbox"/> 有(別添のとおり) <input type="checkbox"/> 無

### 1. 部長挨拶（教育委員会部長）

### 2. 自己紹介

出席の委員から自己紹介

### 3. 委員長副委員長選出

委員互選により、横山委員を委員長、長橋委員を副委員長に選出

#### （委員長就任挨拶）

草津市の体系的な生涯学習の仕組みを整えるという志の元、未来をつくるカレッジ、通称みらくるカレッジというものを構想した。昨年度は老上学区でモデル事業を実施し、今期は、「読書」という学びを通じて、体系的な学びを実現していきたいと考えている。

#### （副委員長就任挨拶）

保育関係の心理学を大学時代に学び、今は大学で学生に講義を行っている。

専門的な知識は持っているが、子どもの実際の姿に関しては、委員の方が詳しいと思うので、子どもの実際の姿と知識的な部分を一致させていきながら、子どもの読書活動と言葉の発達なども関係付けながら、質の高い事業となるよう尽力していきたいと考えている。

#### 4. 社会教育委員について

資料2により事務局から説明

(質疑なし)

#### 5. 委員報告

7月21日開催の滋賀県社会教育委員連絡協議会 研修会について内田委員から報告

#### 6. 議事

##### 1) 令和2年度 生涯学習事業について

資料3により事務局から説明

#### 質疑

(委員長)

予算について、国・県からの補助金は歳入としてあるのか。

(事務局)

地域協働合校推進事業と家庭教育推進事業において県の補助金を受けている。次回からは資料に記載するようにする。

##### 2) 今期の取り組みについて

資料4により事務局から説明

<事務局説明>

○今期は(通称)みらくるカレッジの本校部分を検証する。

○テーマを「学びを通じたボランティア人材発掘・育成～読書ボランティアによる子ども読書活動の推進と学習情報提供」とし、養成講座を実施していく。

○養成講座では、「子どもの読書に関わる能力」と「地域活動のスキル・意義」を学ぶプログラムを組み立てる。

○養成した人材を地域活動へ誘導し、地域で活躍する人材を養成していきたい。

(委員長)

4年間社会教育委員に関わり、みらくるカレッジ構想を提案してきた。

何故この構想を作ろうかと思ったかという、草津市は、平成29年度からまちづくりセンターを各地域に設置し、まちづくり協議会を指定管理者として地域の運営を地域に任せて、地域のまちづくりを行っていくという体制にシフトしてこられた。それと同時に、昔は公民館で行われていた社会教育機能が弱くなり、一生懸命やっておられる地域もあるが、地域によって温度差があって、市全体として人材育成という観点が希薄になってしまったと感じている。

しかし、これから少子高齢化・人口減少社会が益々進んでいく中で、地域の人材を作っていくことは、全国的に重要になってくると思っている。

そのような状況に対して、生涯学習課や社会教育の立場で人材づくりの部分を担当していきたいという思いから、全市的な人づくりを推進する体系的な仕組みが必要であると考えて「みらくるカレッジ」を提案した。

そして、今期は「子どもの読書活動」をテーマとして、読書を通じて市民や子どもの学びに繋げるとともに、活動を通じて、学ぶだけでなく、学びを伝えていき、人々がまちづくりに参画していくことを目指したいと考えている。地域でそのような人づくりに繋がる一つのサイクルを作り出していく試みをしたいということが今回のテーマであると私は考えている。委員の皆様はそれぞれいろいろな立場や御専門分野があるかと思うが、忌憚のない御意見をいただきたいと思う。

#### <委員意見>

##### (A 委員)

昔、私の先生に「読書をしない人とは話ができない」と言われた。それから読書を30代で一生懸命した。職員は40人ほどいるが、その職員にどういふふうに本を読ませるか、考えながらやっている。例えば、買って来た本に関してはすべて園が負担する代わりに、感想を言ってくださいとか、とにかく活字に触れるという、本を読む以前の問題で、まず活字に触れようということを私の園の中ではやっている。

##### (B 委員)

今から7年ぐらい前に、私が住んでいる地域で子育て支援をする場がないということに気が付いて、自治会館を借りて、月2回ほど活動しており、今7年目を迎えている。

その中で、絵本が親子のコミュニケーションとしてはすごく有意義だと感じている。また、それは子どもだけではなく、大人にとっても良いということに気がついた。

子どもだけでなく、大人の方にも、絵本に興味を持っていただくことで、親子間だけでなく、地域のおじいちゃんおばあちゃんから孫までのコミュニケーションが取れるのではないかと思っている。ひいては草津市を絵本で盛り上げていきたいと思っている。

##### (C 委員)

生涯学習課の事業として「絵本 de うちどくサポート広場」という、1歳6か月健診時の待合で絵本の読み聞かせをされていて、私も英語の通訳で参加しており、ぜひ活動を増やして欲しいと思っている。

また、3歳6か月健診のときに、ランドルト環を使った子どもの視力検査があるが、なかなか子どもに使い方や意味が伝えきれないということがよくあり、検査自体ができないことが見受けられる。

視力の場合、6歳までに大人と同じ視力が発達すると言われている。この間に、弱視を発見しておかないと、子ども達の目の状態に気づけないこともあるという。視力検査が難しい子ども向けに、目の検査に関わる専用の絵本がある。3歳半から6歳の間に視力健診をしっかりして、もし見えなかったらすぐに適切に医療機関につなぐ事が必要ななかで、絵本を活用していくのは有効ではないかと考えている。乳幼児健診に関わらず、子育てサークル等でも、このような本を活用していくことを行政からも支

援していただきたいと考えている。

(D 委員)

読書に関しては大人が興味を示さないと子どもがなかなか興味を示さないのかなと思う。

例えば、大人も見ても楽しむものは、子どもにも楽しいものだと思う。それと同じように、代々続くことが一つの生涯学習なのかなと私は思っている。

読書についても、読書が嫌いな子どもが将来大人になって子どもに読みきかせができるわけない。まず、読む、読まないではなくて、本が楽しいんだということを植え付けることが大事だと思う。

(E 委員)

それぞれの町内会とか、まちづくりセンターで温度差があると思う。各町内を構成する住民の皆さんの考え方が関係していると思うが、一生懸命活動されている地域でも、ボランティア団体がいくつかあっても、ほとんどの委員が同じ人であり、実質何人かの人しか動かして、というようなところが多いと思う。今期の事業に関しても、地域におおしたときに協力が得られるかどうか、そこを徹底してもらわないと、なかなかうまくいかないと思う。

(H 委員)

私は学区の社会福祉協議会で「のんびりの会」という会の代表として、高齢者の支援をしているが、去年行った企画で一番喜んでいただけたのが絵本を読む会だった。

今の高齢者は、子どものとき、すばらしい絵本に出会っていないことが多い。今の絵本は質が高く、大人が感動するものもたくさんあるし、図書館に行くとそんな絵本をたくさん読める。活字が苦手な人でも、絵本は字が少なく、絵だけで語る本もあるので、すばらしい絵本をたくさん大人の大人に楽しんでいただきたいと思っている。

(G 委員)

地域活動の方からの切り口にはなるが、経験的に「課題解決型のまちづくり」というと、実際に地域におおして行く中で、地域の方にはすごく重いものを感じられ、なかなか続かないというケースが多い。地域にこんなものがあれば良いという発想から楽しみながら進めて、結果としてそれが課題解決に繋がっていた、というイメージで下ろしていかれる方が良いと思う。

また、講座を開講していく中で、「福祉」、「まちづくり」、「社会教育」や「読書」など、いろいろな切り口で子どもの居場所づくりをされている方や、生涯学習課でも把握していない活動をされている方もたくさんいると思う。健康福祉部、子ども未来部、まちづくり協働部などとも連携して、そういうところの人をこちらの「読書」というところに引っ張ってこられるような動きも必要であると思う。

また、読書には興味があったけど、地域活動には興味がなかった方が、地域活動というところにも目を向けられるようになると良いと思う。逆に、地域活動を一生懸命されていたけど、読書の発想がなかったという方が読書を盛り込まれるような形も良いと思う。

今期の取り組みにおける講座と、他の部局で開かれている講座があれば、そこに「読書」という一コマ

を入れられると、入口が双方向になって広がりができるのかなと感じた。

(H 委員)

先ほど B 委員もおっしゃっていたが、私も年齢に関わらず、大人や子どもが、絵本を通じて居場所を作るという活動を行っており、草津市のいろんな地域に絵本を介しての居場所づくりができたらと思っている。委員の皆さんの中にも同じような御意見をお持ちの方もいらっしゃると思うので、一緒に活動していけたら良いと感じた。

(I 委員)

私の住む学区は昔からの地域と、マンションが建って新住民が多い地域とに完全に分かれていて、特に新住民の地域に対する興味はとても低いように思う。その中で、新住民には小さいお子さんがいる家庭が多いので、本の読み聞かせの推進は、家庭教育という観点から、興味が広がるのではないかと期待している。

また、私の活動で普段交流している学校に行きにくい子達は、比較的ゲームに触れる時間が長い子が多く、離れられないという子どもも多い。その中で、ゲームから離れる時間を作りたいと思うこともあるが、子ども達にみんなの前に出て本を読めというのは難しいことなので、例えば、本を作ったりとか、いきなり本を読むのが難しくても、別の観点から子ども達が、少しずつ興味を持っていくのも良いのかなと思う。そこから子ども達の発想力などに繋がっていけば良いと思う。

(J 委員)

子ども達には読書を通じて、表現力や創造力を身に付けていてもらいたいと思う。

学校との連携で、例えば朝の10分に本読みすとか、様々な図書活動を行っていただいているが、そういう活動が、子ども達の学びに繋がっていけばありがたいと思う。

(K 委員)

私は事業として、自然体験などで就学前の子ども達の面倒を見ている。山・川・湖その日、その季節によって一番良い場所があり、そこに連れていくが、移動中のバスで、絵本を読む。もしくは、到着した後、木陰の下で絵本を読むこともある。例えば、蝶が出てくる絵本を読んだ後、本当に偶然に蝶が出てきたときに、絵本でイメージしていたこと、想像していたことが、実際に目の前に現れると、子ども達がすごく感動してくれる。その体験から帰った後、子ども達が親にその話をすると、親も大変感動される。そして、また家族と一緒にその場所に行かれることもある。そういう親子での相互的な楽しみ方が、絵本を通して実現でき、それが子どもの成長に繋がっていくと感じている。

(L 委員)

読書ボランティアの人材の養成を通して子どもに「本は楽しいんだよ」ということを教えてあげることができればよいと思う。そのようなきっかけづくりができれば、子ども達が興味を持って本を読むようになるのではないかなと思う。

(副委員長)

私は、地域活動というよりは「子どもの読書」ということを考える観点からお話すると、一番大事なのは、大人自身が楽しむということだと思う。

大学の授業で学生に教えているが、保育士や教員を志す学生は子どものことが好きであったり、子どもの学びに役立つ人間になりたいという志を持っている。すごく心優しくて、コミュニケーションを取りたいというような学生が多いが、その一方で、本を読むのは苦手だな、文章を書くのは苦手だな、という学生もいることは事実。しかし、大人が楽しめないものを子どもにやらせるというのは、不条理だと思う。だから、今期の事業の読み聞かせのボランティアを養成するときに大事なのは「本を読むことは楽しいことなんだ」「学ぶことは楽しいことなんだ」とボランティアの方に思わせるような構造づくりだと思う。私の大学時代の先輩が関わっていた事業で、高次脳機能障害を持った方の小規模作業所で、月1回、絵本の読み聞かせを行ったということがあった。その中では、ただ絵本を読み聞かせるだけでなく、絵本に関して語る時間を作っていた。ただ本を読むだけではなく、本に感動したこと、本の楽しかったことを「語る」「語り合う」ことも大事だと思う。講座を通してボランティアを目指す方同士でも、読み聞かせをした子ども達とでもいいが、「読む」「読み聞かせる」だけではなく、読書を通したコミュニケーションというような考え方や感じ方を伝えられるような講座を考えていくことも大事だと思う。

(委員長)

人づくりという観点で言うと、地域の人達にどうやって自分達のまちに関心を持ってもらうのか、そして身近なところから始めて、どのように地域に貢献していくのか、難しいことを言うのではなく、身近なことから始めましょう、という考え方が大切だと思う。

最終的には、まち全体のことを考える人がどれだけ増えるのか、いわば”民度”というか、そういう点が大事だと思う。

生涯学習の立場から、人づくりを通じて、我々は貢献していきたいと思う。

読書活動を通じて、今期の事例をモデルケースを発信していき、「読書」だけではなく、いろんな分野に成功例が広がっていく、そういう試みをしたいというのが今期の思いである。

事務局には今回皆様からいただいた意見を参考にしながら、事業を進めていただきたい。

## 7. その他

事務局から今後のスケジュールについて説明

閉会